

法政大学大原社会問題研究所

# 所 報

(2001.7.1 ~ 7.31)

事務会議  
25日 運営委員会  
議題 諸報告  
客員研究員の受け入れについて  
大原社研のあり方について  
その他  
研究員会議

刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』513号(2001年8月)

図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	96	20	116
受 贈	83	72	155
合 計	179	92	271

閲覧サービス

閲覧

開館日数 26日  
閲覧人員 67名  
貸出図書 88冊

コピーサービス

学外 36件 3937枚  
学内 14件 118枚

## 日 誌

- 10日 来所：吉田有秀全損保副委員長  
11日 労働科学研究所創立80周年記念講演会  
(コメンテーター：早川征一郎)  
14日 全学自己点検・評価委員会作業部会(出席：  
早川征一郎)  
社会政策学会幹事会(出席：早川征一郎)  
加齢過程における福祉研究会  
報告者 伊藤利之氏(横浜市総合リハビリ  
テーションセンター長)  
テーマ 「横浜市総合リハビリテーション  
センターの使命と運営の現状」  
16日 全学自己点検・評価委員会(出席：早川征一  
郎)  
17日 見学来所：前田仁史氏(ベネッセグループ進  
研アド副社長)  
18日 月例研究会  
報告者 高橋彦博(法政大学名誉教授)  
テーマ 「協働会の調査事業について」

大原社会問題研究所雑誌 No.516(2001年11月号)  
2001年11月25日発行  
定価 1,000円(本体952円),年間購読料12,000円  
編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所  
所長 早川征一郎  
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342  
電話 042(783)2307

## 投 稿 募 集

本誌は社会・労働問題に対する論文，調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

### 投 稿 規 定

1. 投稿原稿は2部とし，ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は，原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には，審査に資するため，600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は，本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て，本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は，研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には，所定の原稿料をお支払いいたします。

#### 【原稿送付先】

〒197-0298 東京都町田市相原4324

法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

### 論 文 執 筆 要 領

論文を執筆される場合には，下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には，原則として原稿を返却しませんので，原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には，ある程度の行間を取って下さい。

#### 1 一般的な原則

横書きとする。

タイトル，氏名の次に簡単な目次をつける。

原稿の最後に，執筆者名（ひらがな），肩書き（所属，職名）を記入する。肩書きは大学の場合には，学部，研究所等の名称まで表記する。

注をつける場合には，各章ごとに分割せず，最後に一括し，通し番号をつける。

図，地図などは，可能な限りトレース済のものを提出する。

#### 2 注記の方式

日本語の図書・論文の場合

A. 日本語で書かれた図書については，著者名，書名（書名は『』で囲む），出版社名，発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には，発行年の次に記入する。

B. 著者が2人の場合には，両者の姓名を書く。3人以上の場合には，「他」の方式も可とする。

C. 論文については，執筆者名，論文名（「」で囲む），掲載雑誌名（『』で囲む），巻号，発行年月日の順に書く。

D. 注の最後は，かならず「。」で止める。

欧文の図書・論文の場合

A. 欧文の図書については，著者名，書名，発行地（あるいは出版社名），出版年を書く。書名は，イタリックにするので，下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。

B. 論文の掲載雑誌名は，イタリックとする。

C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。

D. 注の最後は，かならず「。」で止める。

以上